

夢を育むまちづくり学習の展開



仙台市立七郷小学校 教諭 亀崎英治

<http://www.sendai-c.ed.jp/~sichi-el/>

七郷小学校について



○市東部の大規模校

○児童数は約960人



3.11東日本大震災による被害



- 学校は太平洋沿岸から約5kmの位置
- 学区の一部(東部道路東側)にも津波

3.11東日本大震災による被害



七郷小学校学区内の津波被害

復興学習

ともに立ち上がろう！七郷
～未来志向型七郷復興学習の創造～



6年総合～まちづくりの学習

◆年間計画

ふるさと七郷まちづくり(70時間)														
ふるさと七郷再発見 (1学期)							未来の七郷まちづくり (2学期)							
オリエンテーション	イグネ調査活動	用水生き物調査	遺跡発掘見学活動	ニコン写真教室	七郷自主研修	七郷写真展	レクチャー	資料調査活動	聞き取り調査活動	見学調査活動	構想を練る	模型製作活動	完成披露会	報告書の作成

◆外部連携

日本ユニセフ協会，山形大学・佐藤研究室，竹中工務店，荒井南土地整理組合

6年総合～まちづくりの学習

◆単元名「未来の七郷まちづくり」

◆単元の目標

- ①七郷地区の自然や歴史，人のつながりを体感する活動を通して地域に愛着と誇りを持ち，
- ②未来の町の姿はどうあるべきかを多面的に考え，
- ③地域の一員として七郷のまちづくりにかかわろうとする。

6年総合～まちづくりの学習

復興学習		第6学年・総合的な学習の時間				
力	目指す子ども像	視点	目標	資質・能力		
心と態度	○自信を持って前向きに行動し、自分の意思をはっきりと伝えることができる子ども 〔自分が元気〕	自分自身	課題を投げ出さずに継続して調査活動を行い、防災や環境などの視点から自分の生活を見つめ直し、希望を持ちながら生活しようとする。	実践力・継続力	意思決定	・自らの行為について意思決定する。
					計画実行	・課題解決のために、失敗の経験も生かしながら継続して観察・調査活動を行う。
					自己理解	・防災の視点から自分の生活を見つめ直し、よりよい行動を学校や家庭、地域で実践する。
					将来展望	・学習をもとに自己の将来を考え、夢や希望を持つ。
人間関係形成力	○互いのよさを認め合い、感謝や思いやりの心を持って自分からコミュニケーションを取ることができる子ども 〔周りが元気〕	他者や社会	問題解決に向けて協同して取り組み、地域の一員としての自覚を持って地域の復興のためになる活動を行うことができるようにする。	人間関係形成力	他者理解	・話し合い活動の中で異なる意見や友達の考えを受け入れて、新たな解決策を提案する。
					協同	・共通の目的意識を持って友達と協力し合いながら課題解決に向けて活動する。
					共生	・身の回りの自然や社会と共生している意識を持って生活する。
					社会参画	・地域に愛着を持ち、地域の一員としての自覚を持って地域の活動に参加する。
ものの見方考え方	○広い視野を持って多面的に物事を考え、地域のために行動していきることができる子ども 〔地域が元気〕	学習方法	地域のよさや未来の町の姿を多面的に見たり考えたりすることができるようにする。	課題設定力・表現力	課題設定	・興味・関心を持った事象の中から、追究する価値のある課題を設定する。 ・見通しを持って取り組むことができるように、解決方法や手順などの学習計画を立てる。
					収集分析	・課題に合った手段を選択して情報を収集し、それらを整理・分析している。
					思考判断	・調査結果から課題に対しての考察を行う。 ・事象を多面的に見たり考えたりする。 ・状況に応じて的確に判断する。
					表現	・相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現する。

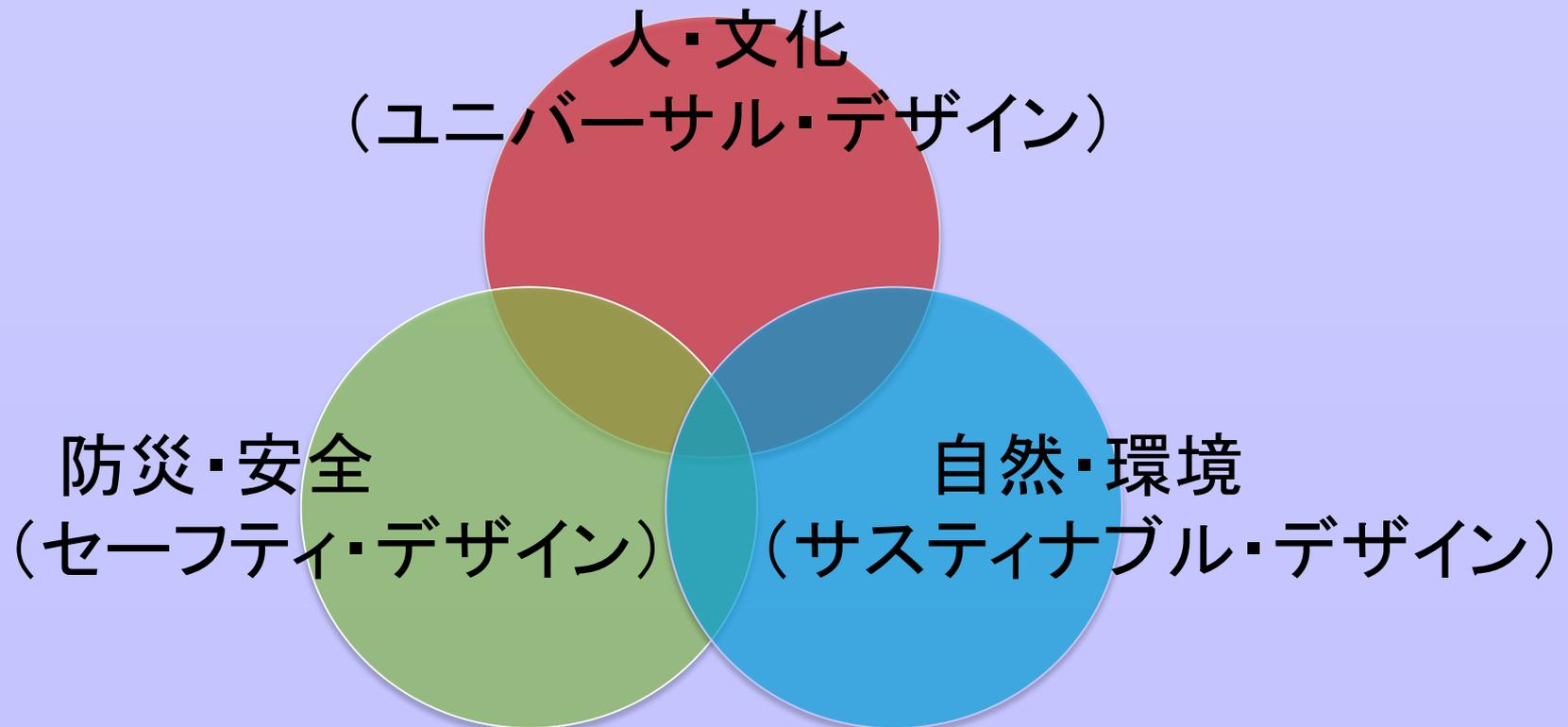
指導の実際～魅力を見つける



指導の実際～まちづくりの視点

「未来の七郷のまちを提案してほしい。」

山形大学・佐藤慎也先生より



指導の実際～見学活動



目の前に広がる田んぼの風景

指導の実際～見学活動



調整区域から市街化区域へ

指導の実際～見学活動

何を残していくか

何を新しくしていくか



指導の実際～インタビュー活動

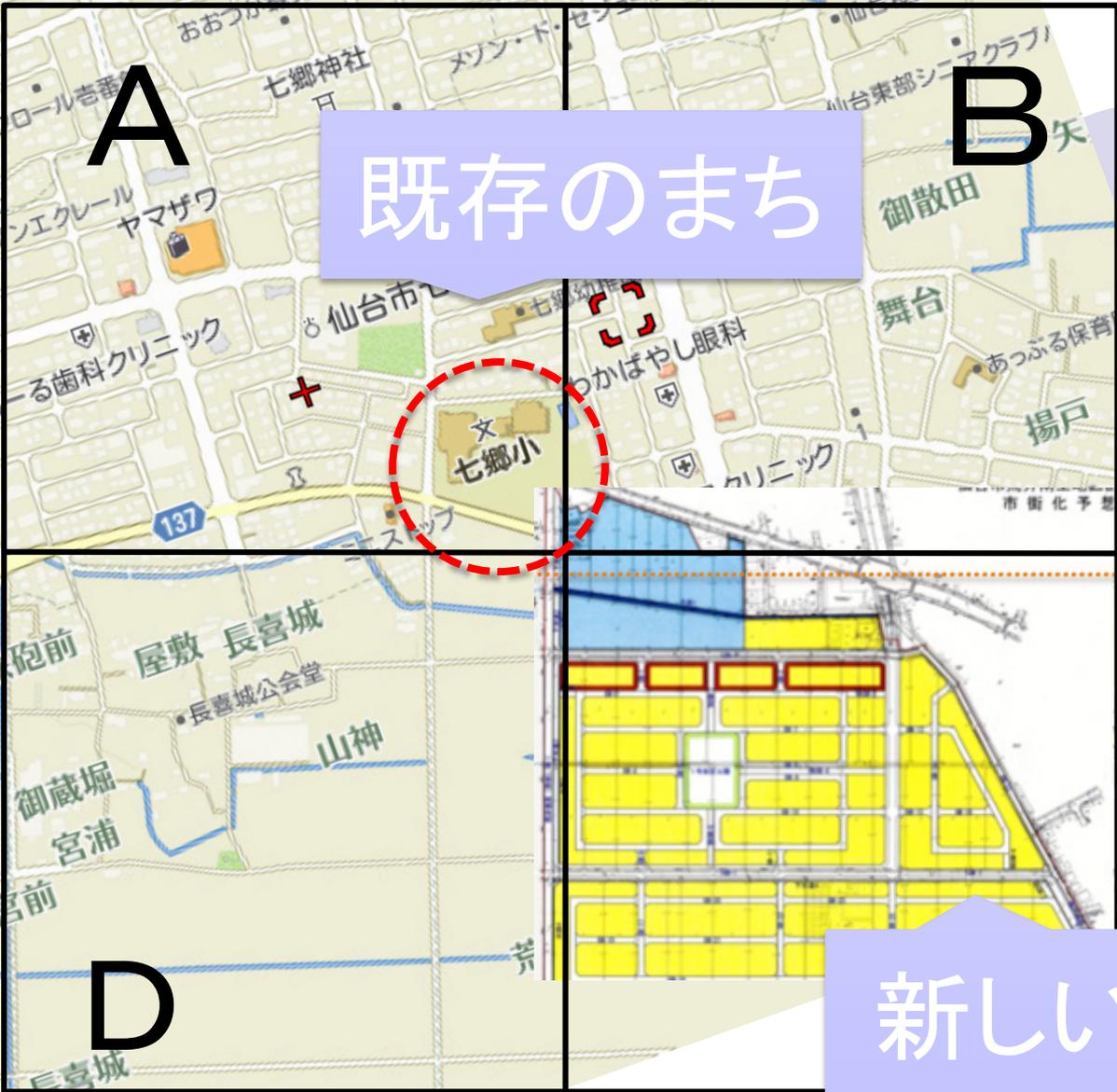
●インタビューした人数

クラス	1組	2組	3組	4組	計
人数	人	人	人	人	人

●インタビューした相手

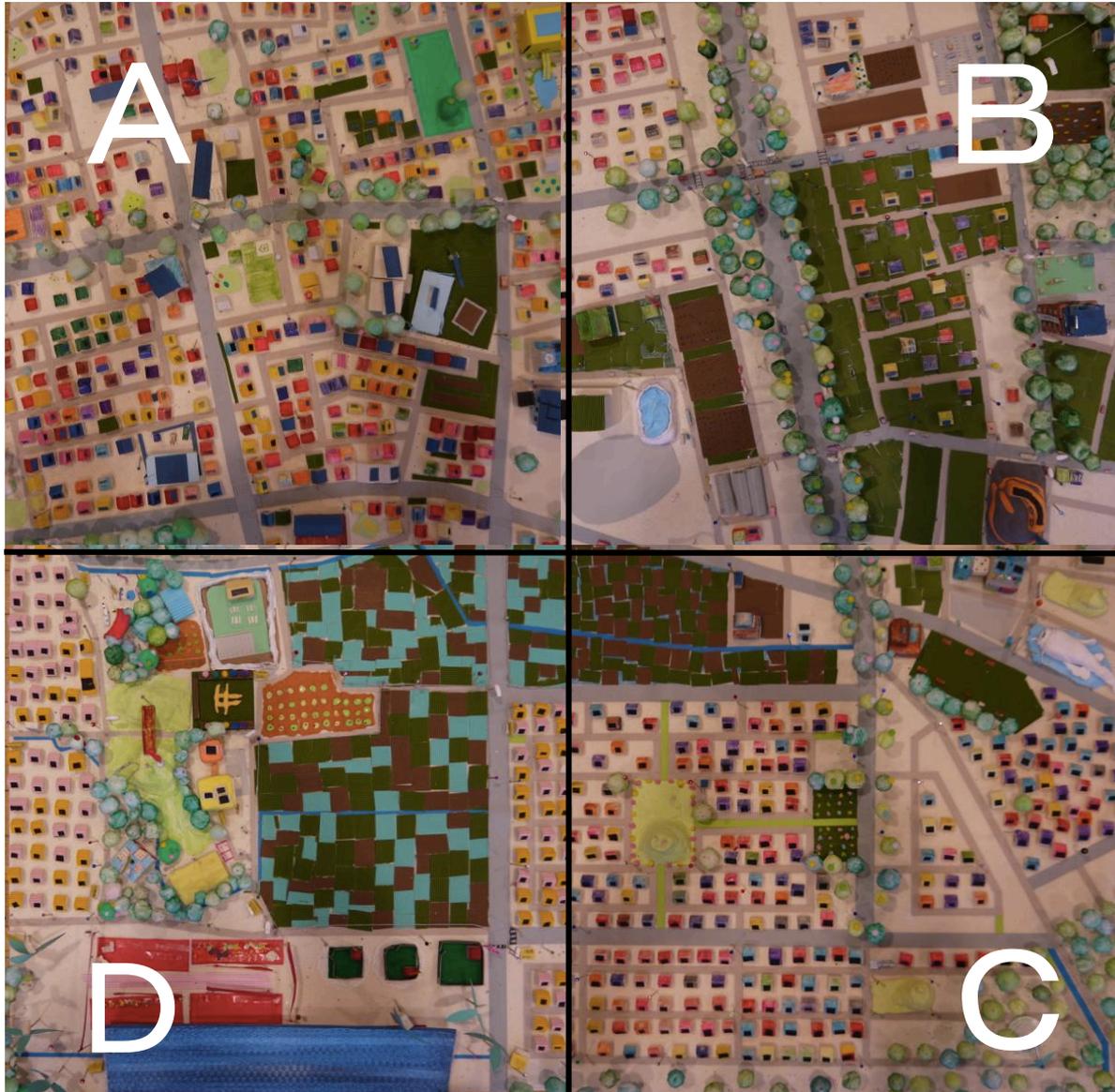
家族, きょうだい, 祖父母, 先生, お店の人, 仮設の方, イグネ農家, 交番の方, 小さい子の親, 車イスの方 など

指導の実際～エリアの設定



区	エリア	特徴
A区	(北西) 七郷小	今までのまち(住宅, 店)
B区	(北東) 7号公園	今までのまち(住宅, 店, 畑)
C区	(南東) 荒井南	新しいまち(住宅, 店)
D区	(南西) 長喜城	イグネのあるまち(田んぼ, 住宅)

指導の実際～まちの設定



《人口》
約5000人
《戸数》
約1500戸
《未来設定》
1組: 15年後
2組: 15年後
3組: 10年後
4組: 10年後

指導の実際～役割分担

クラス	1組	2組	3組	4組
子供市長	<p>先生の指示ではなく、子供市長はクラス全体に、区長は区のメンバーに指示を出しながら未来のまちの姿を製作していく。</p>			
A区長				
B区長				
C区長				
D区長				

指導の実際～クラス設計図

組（子供市長：_____）

●クラスのテーマ

人（ユニバーサル）

環境（サステイナブル）

防災（セーフティ）

町

指導の実際～クラス設計図

組 区 (区長:)

●みんなのアイデア

メンバー		アイデア
前半の発表者	①	<p>①調査活動(ネット, インタビュー, 見学, 自主研修)からアイデアを考えること。</p> <p>②自分やクラスのテーマに沿ったアイデアになっていること。</p> <p>③調べたことをもとに, 10~15年後の未来の形になっていること。</p> <p>④形でないものをどう表現していくかを考えること。</p>
	②	
	③	
	④	
	⑤	
後半の発表者	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	

指導の実際～クラス設計図

組 区 (区長:)

●区の特徴

--

●何を残して何を新しくするか

そのまま残す		<input type="checkbox"/> 住宅・ビル(高さ) <input type="checkbox"/> 店 <input type="checkbox"/> 施設 <input type="checkbox"/> 道路・歩道・自転車道 <input type="checkbox"/> 信号・街灯 <input type="checkbox"/> 交通 <input type="checkbox"/> 自然・木・花壇・生き物 <input type="checkbox"/> 田んぼ・畑・用水
工夫して残す		
形を変える		
付け加える		
新しくつくる		

指導の実際～思考を伴う製作

《人と環境の視点からの見直し》

大型のショッピングモールを作る

人が集まるアリーナを作る

七郷朝市を開催する

地元の店は
どうなるか

七郷の環境
が悪くなる

そこで何を
売
るのか

地元の店が入り、
地場産品を売る。

ソーラーを利用
し、避難所にも。

七郷の仙台白菜
や曲がりネギ等。

指導の実際～思考を伴う製作

チェック項目	A	B	C	D
①まち全体のつながりはあるか。				
②まちとしての機能があるか。				
③七郷のよさが残されているか。				
④10～15年後の未来になっているか。				
⑤3つの視点が入り入れられているか。				
⑥自分のアイデアが作られているか。				

指導の実際～完成披露会



完成した模型の披露

1組のまち

人と時がつながった

ハーモニーシティ七郷

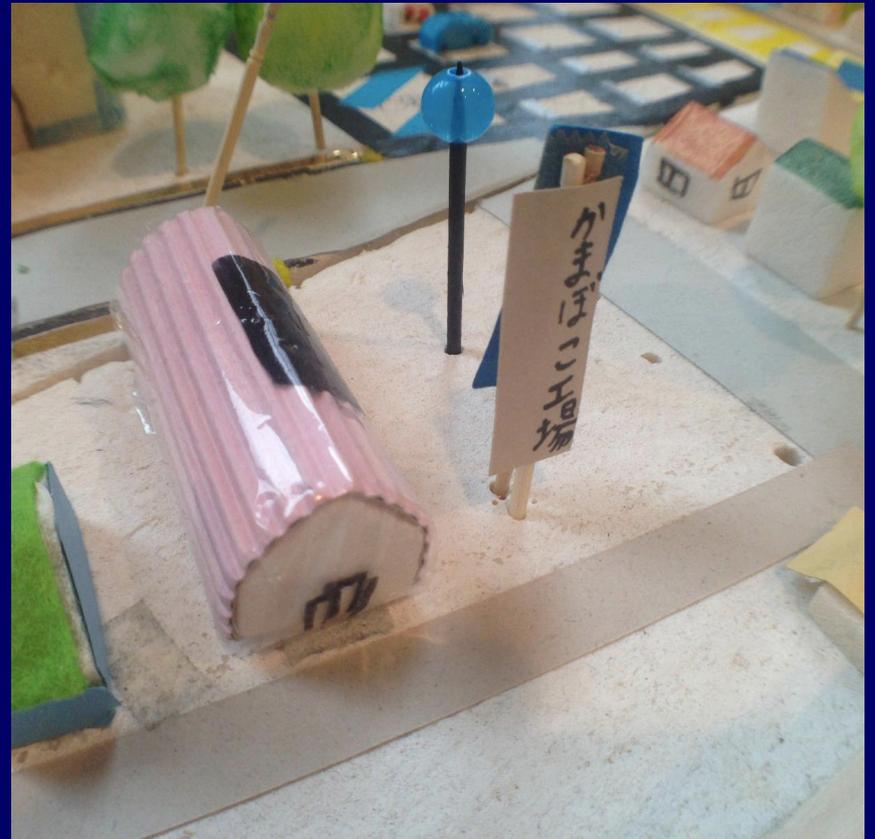




地域にかまぼこ
届けます！



集会所にある
すてきな屋上畑





七郷
まったりカフェ

晴れでも雨でも
発電



2組のまち

緑と太陽を

生かしたまち七郷







未来型

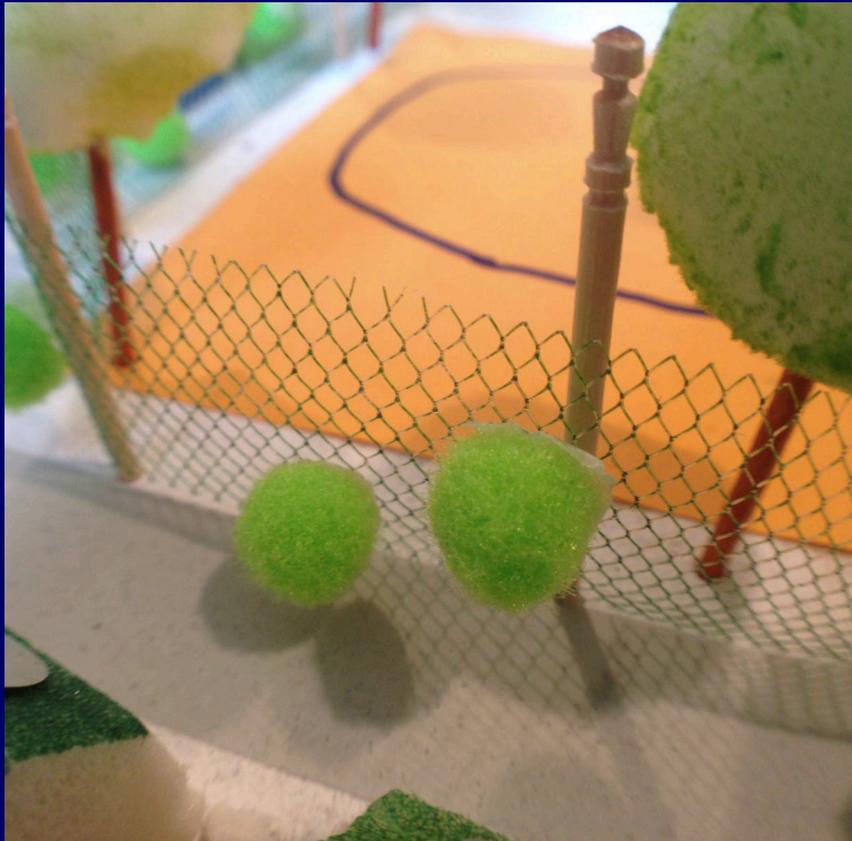
備蓄倉庫

星空が見える

復興住宅



東日本大震災 復興記念館



バックネットの
グリーンカーテン

3組のまち

絆が深く

美しいガーデンシティ七郷

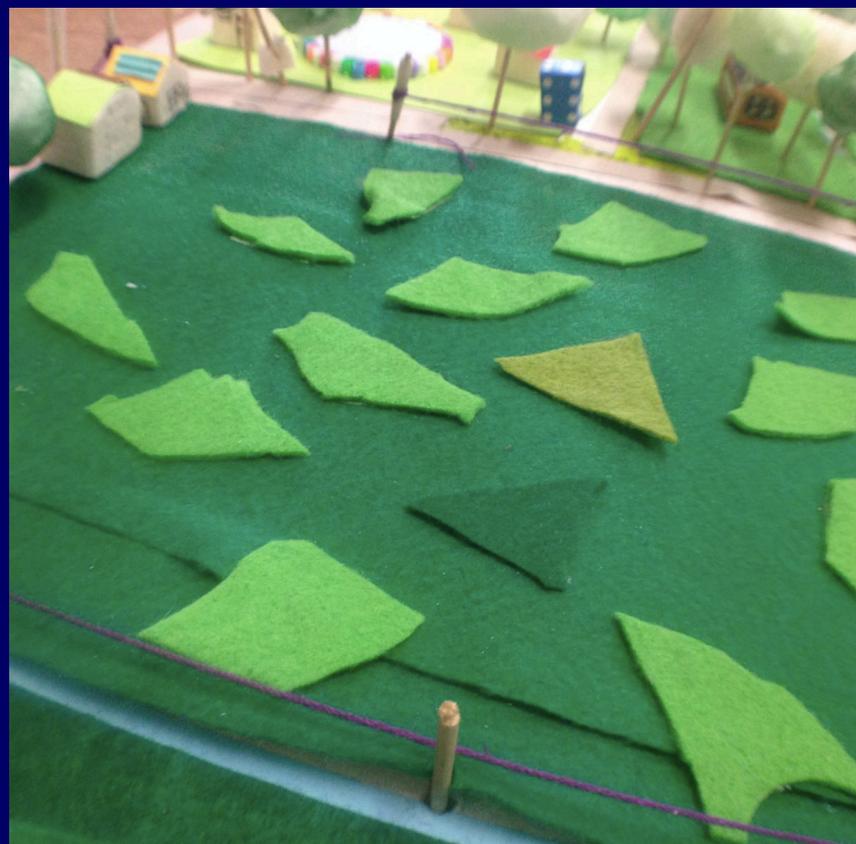




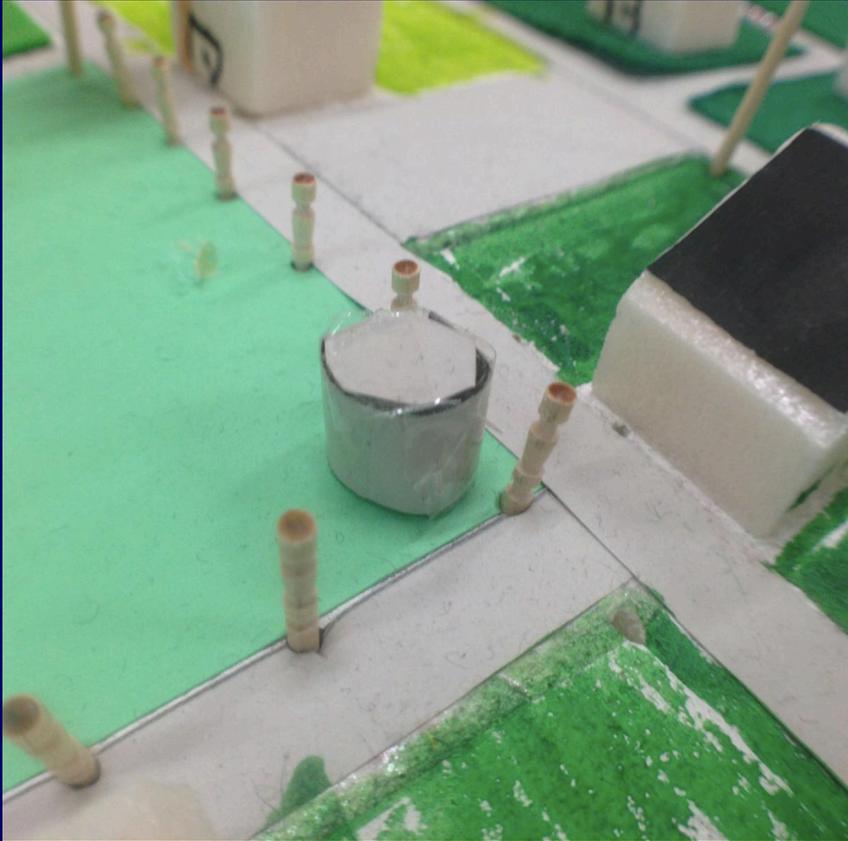


貸し出し可能な
田んぼ

利用しやすい
コンビニ



七郷総合病院



非常用
防火水そう



4組のまち

おもてなしの心あふれる

七郷タウン





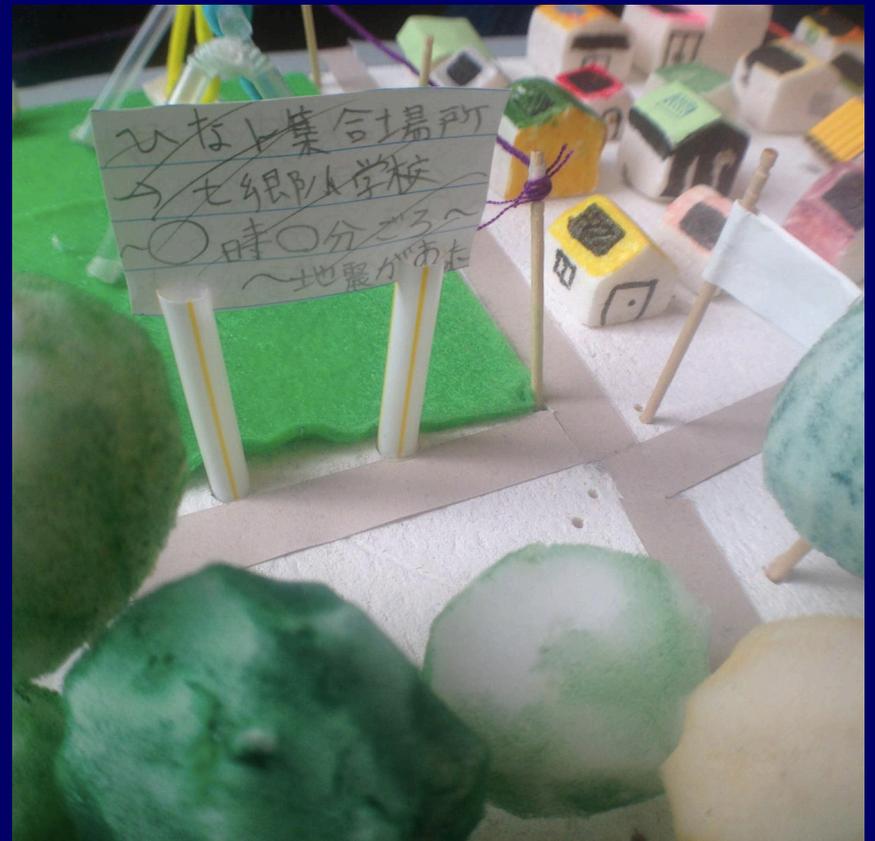


七郷
スカイツリー

仲良くなれる
交流教室



デジタル 避難看板



災害に強い
ビニールハウス

指導の実際～まちづくり報告書



未来の七郷まちづくり 報告書

2014年3月

仙台市立七郷小学校6年

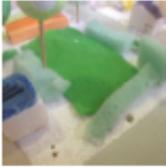
1組	2組	3組	4組
テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
人と時が繋がった ハーモニーシティ七郷	緑と太陽を 生かしたまち七郷	絆が深く美しい ガーデンシティ七郷	おもてなしの心 あふれる七郷タウン

1組A区～小学校北西部（今あるまち）

■区の特徴

自然豊かで快適なまち。木がいっぱいあり、森の中のような空気が吸える。暮らしにも困らないまちになっている。（A区の区長より）

■みんなのアイデア

	①文化委員 森のような公園 公園の中には木がいっぱいあり、森のような空気が吸えて、リフレッシュできる。きれいな池があり、夏には水遊びができる。（りゅうじ）		②環境委員 市民センター屋上の植とかかし 市民センターの屋上には、だれでも利用可能な畑があり、共同でトマトやキュウリなどを育てる。大きなかかしがキャラクター！（るき）
	③安全委員 やわらかガードレール クルマがガードレールにぶつかっても、大きな事故にならない。外をスポンジでおおい、中に空気をを入れて、しょうげきを吸収。（しゅんべい）		④安全委員 子どもが思いっきり楽しめる芝生 子どもが思いっきり遊ぶことができる場所が、まちのあちこちにある。芝生なので、転んでも怪我をすることも少ない。（なおき）
	⑤安全委員 安全・安全なまちにする空窗 交番では、警察署から事故などの情報を受信すると、すぐに出動する。犯人がにげても、つかまえられるので、安心。（こうき）		⑥文化委員 小さくても楽しい遊園地 移動式で遊べる遊具は2つ。1つ目は、天然の木でできたロッククライミング。2つ目は、中がおぼけやしきになっている。（むつき）
	⑦環境委員 自然を利用した屋上庭園 屋上にある庭園では、季節に合った野菜や花が育てられている。ソーラーパネルで雨水を自動で管理して水やりをする。（ゆうと）		⑧環境委員 未来型屋上庭園 多岐もいろいろな花が咲く、軽い土を使用している。面積は90㎡。無料で入るのでだれでもOK！ちなみに野菜も育てている。（あかり）
	⑨文化委員 ユニバーサル最新歩道橋 車イスの人でも通ることができる歩道橋。エスカレーター機能があって、自動で進める。上からは、七郷の景色が見られる。（りゅうじ）		⑩安全委員 フェンスがやわらかくバスケットコート だれもが楽しめるバスケットコート。フェンスがやわらかいので、いきおいあまってかべにげきとついてもけがをしない。（しゅんべい）

まとめ

- 思考を繰り返しながら模型を協力して完成させる楽しさが味わえた。
- 未来のまちはこうあってほしい、と子どもたちが語る姿に、希望を感じた。
- 震災は辛い体験。しかし、震災を教訓にして、復興や防災を考えた社会や生き方を考えていくことが重要である。

まとめ

《七郷小学校》

- ・文部科学省指定研究開発学校制度
- ・新領域「防災安全科」(仮)の創設
- ・全学年で防災教育を実施
- ・自助(自らの安全を確保) = 生き方
- ・共助(地域の安全に役立つ) = 社会

自分の生き方やこれからの社会を語る
ことのできる子どもたちに！